

自治体独自の医師・看護師等医療従事者の確保対策

(2022年愛知自治体キャラバンまとめ)

- ①医療従事者の確保対策は主に、(1)修学資金の貸付制度など学生への支援と(2)専門学校への運営補助や寄付講座など養成と地域医療への大学との連携であった。
 ②医師の確保対策は寄付講座開設3自治体、修学資金貸付が3自治体。
 ③看護師の確保対策は修学資金貸付が9自治体、専門学校運営・運営補助などが6自治体であった。
 ④市町村内に市民病院や看護専門学校がある自治体が、独自の医療従事者の確保対策を行っている傾向にあった。

市町村名	実施		実施内容
	医師	看護師	
合計	10	17	医師確保対策：10（19%）、看護師確保対策：17（32%）
1 名古屋市	○	○	・医師確保対策：寄付講座の設置 ・看護師確保対策：市医師会看護学校運営費補助金・実習体制補助金、県看護協会運営費補助金、市立看護専門学校の運営、看護師等免許所有者への研修事業
2 豊橋市		○	・看護師・准看護師・歯科衛生士養成校に補助金
3 岡崎市	○	○	・市民病院：医学・看護学生対象の就職・病院説明会を開催 ・看護師：民間賃貸住宅を借り上げ看護師公舎を整備、病院ホームページ内に採用情報の載せた特設サイトを設ける
7 春日井市		○	・看護修学資金貸付制度（看護師、助産師養成校に在学する学生に対し修学資金を貸し付け、市民病院に一定期間勤務した場合に返済免除）
8 豊川市		○	・看護師等修学資金：看護師・准看護師養成校に在学する肩が、豊川市内の医療施設において勤務する希望がある場合に限り、貸付け資格取得を支援。また市内の医療施設の看護師確保に努めている。 ・2交替勤務導入や夜専の導入、コロナ手当新設、看護職員処遇改善など
9 津島市	○	○	・院内託児所の設置、多様な雇用形態による子育て世代の雇用対策
10 碧南市	○	○	・研修医、看護師：修学資金制度あり ・医局訪問・看護学校訪問をし病院のPR
12 豊田市	○	○	・豊田市、藤田医科大学連携地域医療寄付講座による総合診療委の確保。豊田訪問看護師育成センターによる訪問看護師の確保・育成
13 安城市		○	・医師会が運営する看護専門学校へ支援を実施
14 西尾市	○	○	・医学生・看護学生向けの奨学金、修学資金貸与制度
15 蒲郡市	○	○	・医師：名古屋市立大学との寄付講座の提携 ・看護師・助産師：修学資金の貸与
16 犬山市		○	・尾北医師会が運営する尾北看護専門学校に運営費補助
17 常滑市		○	・半田常滑看護専門学校への支援を通じて、地域に貢献できる有能な看護師の確保
19 小牧市		○	・春日井市と共同で春日井小牧専門学校を運営しており、看護師を育成、確保対策実施。
20 稲沢市		○	・看護師：国家試験勉強に専念する環境整備のため、看護師採用試験合格者の希望者に対して、月5万円（年60万円）を貸与（2年間の勤務で返還免除）
21 新城市	○	○	・医師：関連医科大学および愛知県等への医師派遣要請、県医師会のドクターバンクや民間医師募集広告の活用 ・看護師：ホームページ上や、大学、専門学校への募集案内送付、民間紹介会社の活用
31 田原市	○		・2010年度から医師確保修学資金等貸与事業として、将来市内の公共医療機関に医師として従事する意思のあるものに対し、修学上必要資金を貸与
48 南知多町	○		・2015年度より医師確保のため修学資金貸付制度を整備
53 東栄町		○	・東栄町医療介護職等就学資金制度：医療福祉等の専門職を養成校に在学し将来東栄町内の医療機関又は介護施設等で就労する意思のある方に対して無利息で就学資金を貸与 ・北設楽郡看護師就職助成金交付：郡内の医療機関等で2年以上継続して就労する者を対象に1人につき1回を限度に30万円を助成